

九包材 3 月度例会 議事録

九州包装資材協議会

日時：平成 28 年 3 月 9 日（水） 午前 11 時—正午
場所：博多サンヒルズホテル（福岡市博多区吉塚本町 13 番 55 号、電話 092-631-3331）
出席：正会員 13 社 15 名
賛助会員 14 社 14 名
合計 27 社 29 名
資料配布：月刊東包材 平成 28 年 2 月号（第 657 号）
司 会：中田（総務）

1. 河野会長あいさつ

今年も年初から円安、株安となりました。アベノミクスの効果で景気が良くなると言われてきましたが、ここにきて、若干、風向きが変わってきたような気がします。皆様の会社はいかがですか。

内閣府の発表によると、65 歳以上の人口が 3300 万人を超えたそうです。全人口の 26%です。これだけ高齢者が増えると、会社の運営もこれらを考慮しなければいけません。日本の社長の平均年齢も過去最高の 59・2 歳となりました。これから日本の中小企業では世代交代が活発になると思われます。

参加して楽しい九包材を目指し会員増強を活発にしましょう。皆様のご協力をお願いいたします。

包装タイムス（第 2736 号）に「株式会社中田 創業 50 周年記念式典を盛大に開催」「三位一体で次の 100 周年目指す」と、写真 2 枚付きで大きく掲載されました。

2. 通常総会へ向けて

- ・一年間の振り返り
- ・今後の方向性
- ・会員増強について
- ・市況
- ・その他

3. 第 45 回通常総会・懇親会

4 月 13 日（水）午後 5 時～ 博多サンヒルズホテル
（開始時間ご注意ください）

以上
記録：八尋（広報）

【Web サイトご案内】

- 全日本包装資材連合会ホームページ
<http://www.tohozai.or.jp/zenhoren.htm>
- 全包連各地区だより（*各地区の報告）
<http://www.tohozai.or.jp/zenchiku.html>
- 九州包装資材協議会（*九州包装資材協議会の議事録）
<http://www.tohozai.or.jp/kyusyu.html>



中 田

創業50周年記念式典を盛大に開催

「三位一体」で次の100周年目指す

有力包材・物流商社、中田(福岡県粕屋郡粕屋町、〒815・6244・3336)は、2月19日、福岡市内のクランドハイアット福岡で「創業50周年記念式典・祝賀会」を開催した。これには、取引先・社員・OB社員など約1,000人が全国から参加して、寿々たる盛大な祝賀の式典となった。

同社は、昨年10月1日をもって創業50周年の佳節を迎えた。1965年(昭和40年)、現・中田専任社長が個人創業後、セロファンテープの販売を皮切りに包材資材、物流機材、衛生用品と出そろえを進める一方、開拓者精神でユーザーを次々と獲得し高成長してきた。

創業以来、企業理念「創業者一人として、企業として、誠実であること」(専任先・仕入先・同社の「三位一体」の基本姿勢)は現在でも顧客と受け継がれている。目標、こころした中田50年の変遷が草創期、成長期、多角期、再成長期といった4段階でビデオで紹介された。

あいさつに立った中田専任社長は、最初に多数の出席に感謝の意を示したあと、「創業者の中田専任社長が一人でスタートしましたが、一口に50年と申しながらも単純な道ばかりではなく、今日を迎えられたことは感謝深いものがあります。これらもともに仕入先様、金融機関様、得意先様のおかげであり、OB・現役社員も含めた相乗力であります」とした。

西日本シティ銀行取締役専務執行役員・入江基雄氏の発言で幕に入った。専任は、業界や金融関係などの出席者、また同社のOB、また子孫も連れも含めたOGなどが和やかに談笑・交際するなか、サブライズとして創業期、昨一月までの軽自動車購入を認め、元・マツダ社員・大塚茂生氏が登壇、中田専任とともに思い出を語り



株式会社 中田 創業50周年記念式典



中田専任社長が花束を贈呈する

中田専任社長が花束を贈呈する

「創業者一人として、企業として、誠実であること」(専任先・仕入先・同社の「三位一体」の基本姿勢)は現在でも顧客と受け継がれている。目標、こころした中田50年の変遷が草創期、成長期、多角期、再成長期といっ

「その後、中田専任社長が社員より感謝の思いを込めて花束を贈呈し、中田専任社長が「あつたかいの50年、苦労と汗をかいていまして、今後ともよろしくお願ひいたします」と

最後に、全社員が登壇する中、中田専任社長が「創業の思いと精神を心に刻んで社員一同精進し、次の100周年を目指します」と締めめの言葉を述べた。